

平成 26 年度 明星大学「全学入学前教育プログラム」実施報告 (保護者プログラム)

百 木 英 明*

1. はじめに

今年度も、年内推薦入試による結果から、入学予定者を対象とする「全学入学前教育プログラム」を実施した。全学入学前教育プログラムの対象者は、年内の早期に自らが学ぶ学部や学間に魅力を感じ入学を志願し合格した入学予定者である。入学予定者にたいして大学では、どのような学びが可能かを体験し、早い時期での取り組みを促す目的がある。しかし、一般入学試験よりも早い時期での合格者には、学力の不安や大学生活への漠然とした不安等がある。保護者にも、早期の合格による高校卒業までの長い期間への不安がある。こうしたことを背景として、改めて①明星大学の教育方針・理念の理解、②保護者による協力・支援を促し、③入学までの期間を充実したものとなるよう大学のプログラムへの支援と理解をいただく機会を設けた。本報告は、保護者プログラムを実施しての報告である。

2. 保護者プログラムの実施報告

(1) 開催日、参加者数

今年度も、入学予定者への「全学入学前教育プログラム」実施日と同日に実施した。

実施日と参加者数は以下の表のとおりである。

実施日	出席者	
2014年11月16日	383名(316組)	2012年 1167名(708組) 68.1%
2014年12月14日	406名(339組)	2013年 842名(701組) 75.0%
2014年12月21日	145名(120組)	2014年 934名(775組) 76.1%

* 過去3年間の参加状況

今年度は保護者の関心の高さの現れとして参加者が多く、教室数を増やして対応した。

(2) プログラム内容

1) 明星教育センター長の挨拶

はじめに、「明星大学の歴史、学生の活動、卒業生の活躍等」のDVDを視聴いただき、大凡の理解をいただいたうえで、センター長から教育理念・方針、学生・卒業生の活躍等を具体的な資料を示し説明した。今回使用したDVDの内容が50周年の内容であり、保護者の皆さんからも好評であったことが、実施後のアンケートからわかる。

* 教育学部 常勤准教授 明星教育センター

2) 全学入学前教育プログラムの概要

全学入学前教育をなぜ実施するのかの説明から始まり、本学の全学入学前教育プログラムの目的を確認し内容を説明した。具体的には①合格者へ当日実施のプレテスト・大学生生活スタート講座・学科交流会、②通信教育、③フォローアップ講習、④スクーリングの流れで説明した。昨年度との変更点は、今回から通信教育の内容としてe-ラーニングを導入しての実施としたことである。パソコンを保持していなくても行なえる内容ではあったが、パソコン所有の有無が関係するかについて保護者から質問があった。また、説明が不十分な点から、一部ご理解いただけない方もおられたことは、今後の反省としたい。

昨今の学籍異動の点から、過去の学生の実例を挙げ、入学までの時期をどのように過ごすかにより大学生生活に影響を及ぼすことに触れ、改めて、入学予定者への支援をお願いした。

3) 事務局からの説明

事務局からの説明として、入学後の学生生活への観点から、準備段階として、5点の注意事項と協力をお願いする内容であった。

4) 在学生からのスピーチ

具体的な学生生活の一端をご理解いただくために、3名の在学生によるスピーチがあった。留学生からはゼミでの活動について、一年生の初めての一人暮らしでの体験、専門教育での学びなどの話があった。保護者からは、子女のより身近な話題でもあるのか、毎年好評である。在学生もやや緊張していたものの、堂々と自らの様々な学びを表現していた。

最後に、今年度から実施予定の、「特別講座」の案内をしてアンケートを回収し保護者への説明会は終了した。

3. 保護者からのアンケート結果

毎年、次年度以降の内容検討のために、参加した保護者へのアンケートを実施している。回答数は11月16日(303)・12月14日(325)・12月21日(117)である。本年度の結果は以下の通りである。

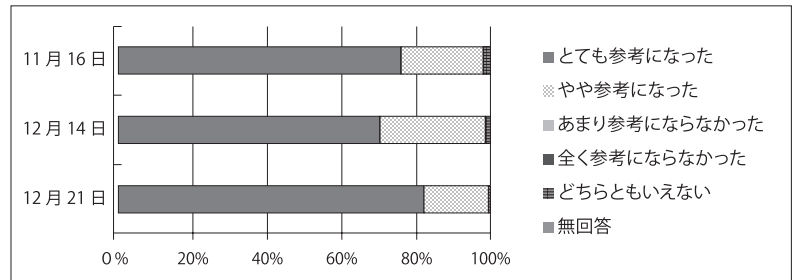
保護者からは、下記表の通り、98%以上の方々から参考になったとの回答をいただいている。「入学が決まり漠然と過ごしていたので、指針となるものが分かり、有意義に過ごすことができそうだ」「子供が入学するまでどう過ごしたら大学生生活の良いスタートができるのか不安をへらせるのかがわかり良かった」「知らないこと、不安なことだらけだが、だいぶ解消された」「冊子なんかよりもわかりやすい。これぞ生の声」「自分の学生時代とは違い、保護者のガイダンスがあることに驚いたが、説明を聞いて良かった」等が具体的な良かった点として挙げられている。来年度の進路が具体的に確定したもの、高校生活を残しつつ、不安が募る入学までの時期をどのように取り組むのかについて参考にしていただければ幸いである。

各設問でのアンケート結果は以下のとおりである。

問 1. 本日の保護者ガイダンスはいかがでしたか

	とても参考になった	やや参考になった	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった	どちらともいえない	無回答
11月16日	75.9%	22.1%	0.0%	0.0%	1.3%	0.7%
12月14日	70.2%	28.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.9%
12月21日	82.1%	17.1%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%

保護者としての関心は、やはり「入学前プログラム」であることが窺える。「大学生活にスムーズに入っていくために、今、親子ともどもアイドリングがとても大切であると認識できました。」「学習面の不足がきになっていた。本人、親、課題がみつきり安心」「自分自身も改めて重視すべき

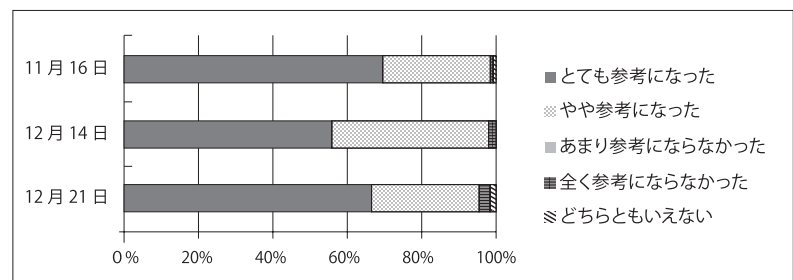


内容だと思いました。」早々に大学が決まって過ごす、半年間への不安を少しでも軽減できるのは、合格者の学習への取り組みになるのであろう。更に、事務局からの注意事項で改めて、気の引き締めに一助となるのであろうことが保護者の意見から理解できる。「4月までの規則正しい生活の必要性」「入学前の生活の重要なことが分かった」。また、在学生からのスピーチは、「在学生の生の学生生活の話が聞けてとてもよかった」「学生がその大学を表していると考えており、非常に参考になった」等、学生自身の言葉による、現実的な話に親近感を覚え、毎年好評である。

問 2. 明星大学の歴史と教育理念に関する「大学を知る」のDVD上映はいかがでしたか。

	とても参考になった	やや参考になった	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった	どちらともいえない	無回答
11月16日	69.8%	28.9%	0.7%	0.0%	0.7%	0.0%
12月14日	55.4%	41.5%	0.0%	0.0%	1.8%	1.2%
12月21日	66.7%	29.1%	2.6%	0.0%	1.7%	0.0%

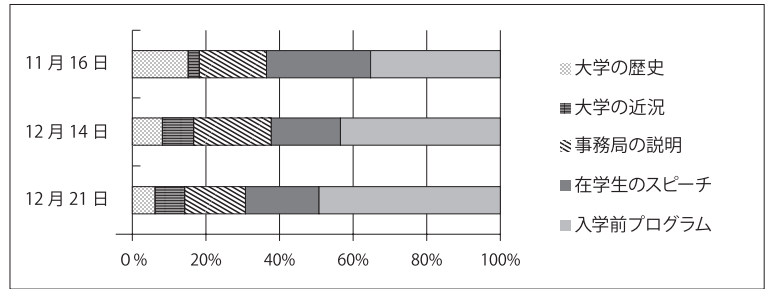
「50年の歴史があり、当初からの理念がぶれていないと思いました」「どういう大学で4年間どういう理念で学んでいくのかもわかりました」「大学での実際の活動がDVDで目で見ることができてわかりやすく良かったです」等、本学の教育の方向性をご理解いただけたようである。



問3. 本日の保護者ガイダンスでどの内容が参考になりましたか。

	大学の歴史	大学の近況	事務局の説明	在学生スピーチ	入学前プログラム
11月16日	14%	3%	17%	27%	33%
12月14日	8%	8.3%	20.7%	18.6%	42.6%
12月21日	6.3%	7.8%	16.4%	20.3%	49.2%

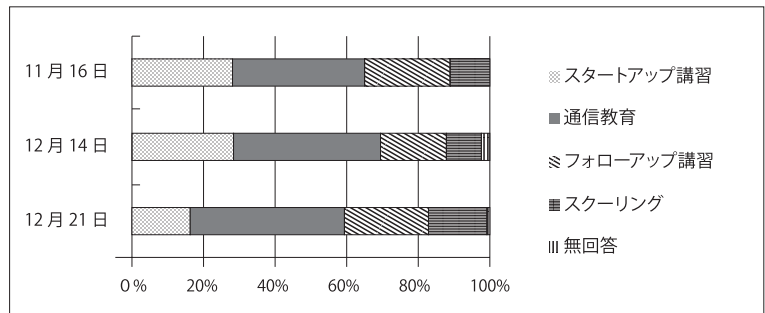
全学入学前教育プログラムで特に必要だと思う内容については、「一般入試で入学してきている学生さんと差がないか心配だったのでこのような教育があり少し安心しました」「AOなので全体のレベルから、自分の子供のレベルが分からないので少し上げたい」などから通信教育での学力維持を期待する内容が多いことが理解できる。



問4. 全学入学前プログラムで、特に必要と思うプログラムはどのプログラムですか。

	スタートアップ講習	通信教育	フォローアップ講習	スクーリング	無回答
11月16日	28%	37%	24%	11%	0.0%
12月14日	28.3%	41.3%	18.7%	9.9%	2.1%
12月21日	16.3%	43.1%	23.6%	16.3%	0.8%

「入学前まで学習習慣を継続させるためにとても必要」「基礎学習をe-ラーニングでできる」といった通信教育や、「学力が不安だったとき、自らではなかなか勉強できないので助かる」といったフォローアップ講習、スクーリングでの、「大学入学までの必要なプログラムである」という認識である。



4. 課題と今後に向けて

全学入学前教育プログラムは、実施後の各種アンケートを基に、改善を図っている。本年度も、略整ったであろう環境からe-ラーニングの導入も行なった。保護者プログラムにも、90分間ただ大学側の説明を聞いていただくではなく、在学生のスピーチ後に、保護者同士の交流を入れてみた。「初対面でのいきなり隣と話すのは難しい」との意見もあり、プログラムの見直しは必要である。また、多くの参加者があった1回目では、不十分な掲示による情報伝達で保護者に迷惑をかけたことも反省し、2回目以降は対応したが、運営面での改善が課題としてある。

「昔とはいろいろ違いがあり、不安や心配もあった為」参加された保護者への説明は、「大学生の実態が分かり、今の10代を取り巻く環境がとても厳しいものだと感じました」「明星大学の教育方針他理解することができた」等、有益だとする多くの意見をいただいた。時代の変貌が激しい中、保護者と大学が協力して学生への支援をする方向はご理解いただいたようだ。保護者プログラムの更なる充実をめざし今後も取り組んでいく。